

# 艺术通

サポ通は、認定NPO法人さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

# さばえNPOサポート通信

# ■ Vol.41&42 合併号

発行日 ■ 2023年03月31日

発行■認定NPO法人

さばえNPOサポート

編集■広報委員会

# 実践「市民主役」!!

エスティージーズ

# SDGs講座

2023年3月1日(水)19:00～  
さばえNPOセンター+Zoom

のできるまで



▶講師の新田英理子氏

ハキハキした声に仕草。

会場の参加者の発言を引き出しながら、笑顔の会話の中で新しい視点へも目を向けさせてくれる。

…そんな時間を創り出してくれたのが、この講座の講師を務める新田英理子氏です。

東京に本拠地を持つ(一社)SDGs市民社会ネットワークの理事であり、事務局長。

2年前に好評だった、市民活動団体向けのセミナーに  
続き、SDGsに関する講座をお願いするのは、これが2回目です。

■ 同じ会場にいるからこそ

前回との違いは、何と言ってもNPOセンターの会場で、参加者の皆さんと“直接”やり取りしていること。

Zoomなどのリモート講座も、もちろんたくさんのメリットがありますし、今回もオンラインでの参加OKでしたが、微妙な表情や空気感のようなニュアンスは、やはり同じ会場にいないと伝わりにくいものです。

コロナ禍で、多くの市民活動団体が苦労したのも、この直接のコミュニケーションを奪われたからだと、多くの人々が感じていたはず。

アナログな感覚ですが、「情報さえ受け取れればOK」と言うほど、言葉も通信も万能ではないのかもしれません。

#### ■ 4つの組織で連携

今回の講座は、認定NPO法人エコプラザばえさん、夢みらいWeさんと、我々さばえNPOサポートとの共催で実施されました。

エコプラザさんは、もちろん環境のスペシャリスト。

夢みらいWeさんも、ずっと男女共同参画やワークライフバランスなどんですから、SDGsを中心これでもありました。

加えて、鯖江市SDGs推進センターさんの協力も得られたことで、ちょっとした“チームさばえ”的体制で運営できたことは、色々な経験値も高めてくれました。

…とは言え、はじめの企画会議の中で方向性が決まるまでは、正直、糺金曲折も…

そもそも、最近「SDGs」って言葉があふれすぎてる気がしませんか?



[次ページへ→](#)

## ■なんだか他の世界のことみたい…

マスメディアでもインターネットでも、何かというと触れることが多い「SDGs」。

まだ他の団体さんとの共催や連携が決まっていなかった委員会の企画会議で、何人かの口から出たのが、SDGsという言葉自体が、その中身や意味をしっかりと考る前に、まるで「呪文」のように繰り返されるようになった現状への違和感でした。

SDGs自体に意味が無いと言うつもりはもちろんありません。

しかし、最近は行政や企業を筆頭に、なんでもかんでもSDGsと関連づけることで「やってる感」や「社会貢献していますアピール」をしてる様に見えてしまう…と言うわけです。

「SDGsの講座をするのなら、その“陳腐さ”を振り払うものにしないと!」

「このまま放っておくと、SDGsと自分たちとの距離が、どんどん遠ざかっていっちゃいそう。」

それが、今回の企画の真ん中にある課題となりました。

## ■「市民主役」の視点から再解釈

SDGsとは、行政や企業が取り組めば良いものではありません。

もちろん、大組織が関わることは不可欠ですが、SDGsとは“世界の価値観を変える”チャレンジとともに言えます。

そこに、市民一人ひとりが「関わらない」という選択肢はありませんよね。



実はそれは、鯖江のアイデンティティともなりつつある「市民主役」の考え方とも、とても近いのではないでしょうか。

そこに気がついて、企画に関わるメンバーの方向性もまとまりました。

今回の講座では、SDGsと言うより、「市民主役」に軸足を置くことで、SDGsを再解釈してみよう!…そんな裏テーマが決定したわけです。

## ■自分の自発的行動は「市民主役」!

だったらそれは「SDGs」…かも

「市民主役」の根本にあるのは、市民は地域の生活者や働き手であるとともに、その責任者でもある…という考えです。

SDGsの根本にも、その「当事者意識」「責任感」は大切です。

「自分たちが変える」「自分たちが変わる」の視点がなくては、新しい価値観は根付かないからです。

今回講師の新田氏は、参加者一人ひとりの経験や意見に軽やかに向き合いながら、自分たちの行動や意識が、世界のSDGsに間違いなく繋がっていることを意識させてくれました。

世界の視点を持ちながら、目の前の「やれることをやる」大切さ。

それが、私たちが希望を持ちながら「誰ひとり取り残さず、持続可能な世界」を再構築するヒケツのように思いました。

「市民主役」という言葉も、軽々しく使いすぎて陳腐にならないよう気をつけながら、私たちは私たちの足もとを、しっかりと耕していきたいものですね。



# 市民活動はネイティブで行こう!!

## ●「ネイティブ」とNPO

「ネイティブ(日本語だと『土着』『先住民』など)」という言葉を聞いて、どこなくネガティブな印象を持つ人もいるかもしれません。

逆に、歴史や文化の香りを感じる人もいるでしょう。

日本語で「土着」と言えば、本来は「先祖代々その土地に住んでいること」や「その土地に住み着くこと」を指すようです。

そんな「ネイティブ」の言葉を手がかりに、NPOと地域との関わりを考えてみようと思います。

## ●「課題」vs「地縁」?

昔から、NPOは「課題解決(ミッション)型」で、町内会などは「地縁型」の組織と分けて話されることがあります。

間違いではないですが、地域に関わる活動をしているNPOはたくさんありますし、地縁組織でもNPO的な課題解決のための事業をしている団体もあります。

鯖江で言えば、各地区にある「まちづくり応援団」のような存在は、その代表ですよね。

地域や市民のために役立つものということでは、この2つを分けて考えることは、実はあまり重要ではないかもしれません。

## ●“ネイティブ”な中間支援組織

私たち「さばえNPOサポート」も、もともと鯖江という地域に密着した団体です。

もちろん、県域や全国単位の活動に関わることも少なくないですが、その時でも鯖江という地域からの目線や価値観を忘れないように注意しているつもりです。

その理由は簡単。

“きれいごと”にお化粧するのを許してもらうなら、それは「鯖江という地域と、そこで生活する市民のみなさんのためになること」を大切にしているからです。(それが「ちゃんとできてるの?」というご指摘は、もちろん真摯に受け止めさせていただきます。m(\_ \_)m)

ただ、それとは別に、地域を良くしようという団体であれ、企業であれ、もちろん行政であれ、そこに関わる人たちに必要なのが「ネイティブ思考(指向)」ではないでしょうか。

なぜならネイティブ(土着)とは、文字通り「地に足が着いていること」と重なるからです。

## ●究極の“居場所”

地域に関わる“ネイティブ”な活動の多くは、カッコいいものばかりではありません。

昔ながらの諂いや人間関係。

そんな泥くさいものもひっくるめて、地域は市民の生活の場であり、究極の「居場所」なのだろうと思います。

「居場所」は、ただの仕事場とは違います。

仕事を離れてても関わる場所であり、集中して活動もすれば、逆に休んだり楽しんだり、英気を養い人生を謳歌する場もあるはずです。

そこに関わるとなれば、机上の計画通りに達成できることは、多くないのではないでしょうか。

NPOでも地縁組織でも、地域に根ざした成果を目指すのであれば、どんな活動や事業であれ、「ネイティブ」を忘れてはいけない気がします。

そうでないと、「意識高い系の人がやってる、ご奇特な活動」のまま、地域に根付かないものしか残らないかもしれません。

## ●ネイティブさんいらっしゃい☆

確かに「ネイティブ」には扱いづらい部分や、非効率な部分があるものです。

でも、時間をかけてでき上がってきたものならば、そこを変えたり改善したりするのにも、それなりの時間や手間がかかることだってあるでしょう。

急ぐことで、地域にわだかまりやしこりが残ってしまうことこそ、もしかすると最悪の結果なのかもしれません。

逆に、手間ひまかけて“納得”できる地域の時間が積み上がっていくことで、次の世代や他地域からの“新しいネイティブさん”が増えていくのなら、それは究極の地域おこしではとも思います。

さあ、これから「市民主役のまちSABAE」。

みんなで「ネイティブ」を忘れずに参りましょう！



# いつもボランティアに 参加しませんか？



べるまー子

(公財)ベルマーク教育助成財団  
まったく非公認

- ベルマークは、集めるだけで世界中の子どもたちも応援できる、スゴい仕組みなんですよ。
- 協賛企業さんの判断で、ある日「無効」になってしまうベルマークもあります。  
集めたら、なるべく“新鮮”なうちにお持ちください！

【お問合せ】さばえNPOサポート事務局まで  
TEL:0778-54-7055 info@sabae-npo.org

市民の皆さんからベルマークを集め、鯖江市PTA連合会を通して、ご希望の学校などへ寄付するプロジェクトです。

自分に合ったカタチでお手伝いいただけするとウレシイです☆

①ベルマークを集めて  
さばえNPOセンターへ！



●テトラパック社の「紙パック」もベルマークポイントになります。  
開いてきれいに洗ったら、**何も切り取らずに**持って来てね☆

②集まったベルマークの  
仕分けと集計！

●自分の空いたタイミングで  
好きな時間だけお手伝い  
ください。



鯖江の市民活動情報ブックレット

**OSANPO** 発刊!  
～11歩目～

- A4版・20頁・総天然色
- ご希望の方は「さばえNPOセンター」まで(無料)
- PDF版も公式サイトで公開中!!

【特集「市民主役所」】市民民主役所いろいろのイ／コラム

【他】こどもエコクラブ活動交流会／サバヌシ総会2023 など



広報サポーター募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃っています☆  
詳しくは、さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

認定NPO法人 さばえNPOサポート

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市民活動交流センター内

TEL:0778-54-7055 FAX:0778-54-7058

【メール】info@sabae-npo.org

【ホームページ】http://www.sabae-npo.org